

第三種郵便物承認 HSK 通巻3786号2014年3月8日発行

HSK

会報「石川守る会」

No. 65

石川県重症心身障害児(者)を守る会  
全国重症心身障害児(者)を守る会  
石川県支部 会長 山本 衛

厳しい寒さが続いています。会員の皆様方、お子様方はお変わり  
ありませんでしょうか。

各地でノロウイルスやインフルエンザの流行が伝えられていま  
す。抵抗力の弱い重症児者や高齢者は重篤な状態になることもあり  
ます。十分ご注意ください。

少し暖かくなったら昼食会も企画し、会員のみなさまがたの交流  
も図りたいと考えています。

ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。



第25回東海・北陸ブロック大会報告 NO2

2日目

田村輝男副会長から講話がありました。

昨年の三重大会での講話の続きということで「重症児者を守る運動」を進めるに当たって私たちが心することについてお話がありました。

3. 11東日本大震災以後「生産性が人生の全ての価値である」との考え方が少しずつ見直されてきているようである。

世間から取り残された子どもたちを守るための運動は社会の共感を得ることが大切である。そのためには「我を捨てる」ことが出来るかどうかが鍵であると思う。

運動が思うように進まないときはそういう観点で見直すことが必要である。昭和41年北浦会長をはじめとする親たちの必死の運動がようやく認められ、国立療養所に480床の重症児者のためのベッドが認められた。現在では73カ所、社会の共感があったからこそ充実してきたということを強調されました。

基調講演 「重い障害のある子どもたちのいのちを見つめて」

東北大学医学部准教授 田中総一郎先生

まず子どもたちにいのちの大切さを伝えたいと小中学校で実践しておられる「いのちの授業」についてのお話がありました。

子どもたちと「いのちのはじまりはいつ」

「いのちの終わりはいつ」「いのちはどこにある」などのやりとりをする中で「あなたが

生まれてきて家族はどんな風に思いましたか」という宿題を出しました。答えの中で一番多かったのが「生まれてきてくれてありがとう」でした。この言葉は子どもたちに生きていく力を与えてくれる言葉である。→自己肯定感

しかし障害のある子が生まれてきたときに病院では「おめでとう」の前に診断を伝えてしまい、「生まれてきてくれてありがとう」が言えない苦しみや悲しみを抱えてしまう親もいる。

人は診断や評価の対象では無く愛される存在だと言うことを周りの私たちは大切にしなければと強く感じている。濃密な医療が必要で入院していたIちゃんが退院して家族と一緒に暮らし始めると病院では見



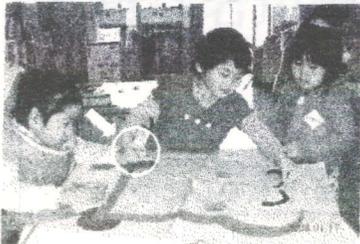
人は診断や評価の対象では無く愛される存在だと言うことを周りの私たちは大切にしなければと強く感じている。濃密な医療が必要で入院していたIちゃんが退院して家族と一緒に暮らし始めると病院では見

よく子どもに「いのちをたいせつにしなさい」と言いますが、形どして見えにくい「いのち」のたいせつさを子どもに分かりやすく伝えるにはどうしたらいいでしょうか。たった一つしかない「いのち」をどう子どもに感してもらうのでしょうか。

第三種郵便物承認 HSK通巻3786号 2014年3月8日発行

られなかった柔らかな表情を見せてくれました。また抱っこしているおじいちゃんやお姉ちゃんも幸せそうです。

どの子どもさんやご家族にも「生まれてきてよかった」と思っしてほしいと願っています。



次に地域で生きる宮城県障害児教育将来構想の取り組みについて話されました。小学校1年の時から普通学校に通っているMちゃんとクラスの子どもたちとMちゃんとの関わりを具体的に話されました。その中でクラスの保護者から「子どもたちの世界は子どもたちが作り上げていくもので、その場に障害のある子がいても自分たちの力で成長していくと思う」との声が寄せられているそうです。

子どもたちの中には「困っている人がいたら、助けてあげよう」という素直な気持ちがそだっているそうです。

最後に東日本大震災に関するお話をして頂きました。

生きのびるために  
考えてほしいこと

1. 災害からなんとしても逃げのびて
2. 安全に過ごせる場所を確保して
3. どの備えをしたらよいか
4. それでも困ったときは...

いざ考えなければならぬこと、いざ発信しなければならぬこと  
皆さまと一緒に考えてまいりたいと思ひます

各家庭での停電対策

自家発電機

足踏式吸引器



ホンダEU6000-ES エンジン  
10万5千円

新創工業製 足踏み式吸引器 KFS-600  
1万3千円

カセットボンベタイプは  
稼働時間が短い  
メンテナンスは楽で家庭用として適している

気管切開では  
両手が使えず足踏式が  
適している

東北3県沿岸部での被害者数の割合は一般の人は0.8%だったが障害児者の割合は1.5%と2倍に及んだ。そして助かった人も次は生活が大変でした。人工呼吸器、在宅酸素、吸引器の電源がなかったり、薬や経管栄養などの医薬品が流されたりと命に関わる状況がありました。被災地の重症児者との連絡が取れず情報がなかなかつかめませんでした。6日目頃から携帯電話がつながるようになって地域でのニーズを聞き取れるようになりました。その中で救援物資の中に障害児が使う中間のオムツがないことがわかり支援することが出来ました。一人一人の情報は保健師さんや支援学校の先生たちからもらって届けてもらいました。また停電時の電源確保として自家発電機の情報も提供して頂きました。これからの備えとしては医療情報などのメモを身につけておくこと、薬や経管栄養などを災害時対策に学校や施設に預けておくこと等も話されました。指定避難場所や福祉避難場所を確認しておくことも大切です。

災害時だけでなく普段からの人とのつながりが重要であることも強調

第三種郵便物承認 HSK通巻3786号2014年3月8日発行

されました。親しみやすくやさしい語り口で先生の人柄が伝わってきました。聴かれたみなさんも元気を頂いたようです。感想もたくさん頂きました。いくつか紹介します。

- ・子どもたちに接するときの先生のやさしさがよく伝わってきました。
- ・心温まる講演に感動しました。
- ・優しい言葉あり、一步踏み出す勇気を持てる言葉あり、ありがとうございます。障害の姉がいたから講演に参加できました。
- ・災害時の対応や支援体制について参考になりました。
- ・田村さん、田中先生お二人とも話し方が上手でしっかり私の心に落ちてきました。勉強になり充実した時間でした。
- ・田中先生優しく子どもたちと接しておられ、日本国内の医療に携わる先生方がこの様に接してくださることを望みます。

**昼食会のお知らせ**

日・時 平成26年3月9日 12時～

場 所 鞍月「せん」

TEL076-239-1000 金沢市戸水1-428

会 費 2500円

申し込み 入所の方・松本さん TEL 283-4432

在宅の方・紺井さん TEL 288-5413

\*多数の方のご参加をお待ちしています。

訃 報 平成26年1月本会会員山田美智子さんのご兄弟俊明様  
がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りします。



編集人 : 石川県重症心身障害児(者)を守る会  
連絡先 : 929-0123 石川県能美市中町ツ88-1  
TEL 0761-56-0610  
会長 山本 衛  
発行人 : 北陸障害者定期刊行物協会  
富山市今泉312番地  
定 価 30円